

## 第3回原野谷学園新たな学校づくり検討委員会 概要

日時	令和6年1月23日(火) PM7:00～8:30
場所	原野谷中学校 図書室
出席者	委員 19名 事務局 教育政策課長、学校再編室長、学校再編室主査、学校再編室主事、 地域計画建築研究所2名
内容	
■ : 委員会での検討内容	
1	開 会
2	あいさつ
3	協議事項
	(1) 整備コンセプト・基本方針について
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コンセプトについて、「原野谷からはじまる、夢と希望に向かう新たな共創のまなび舎」として、委員14名の賛成を得て検討委員会案として決定。</li> </ul>
	(2) 学校の設置場所について
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 検討のために追加で必要な情報について、委員より下記の発言。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 原谷地区から中学校へ向かう道は朝に渋滞する。通学や送り迎えに不安があるため、交通量も考慮してほしい。</li> <li>- 渋滞が発生する現状に対してどう対策できるのか示してほしい。</li> <li>- 建設地を原野谷中と原谷小のどちらにしても通学支援の対象が10%となっている。既定の2km以内でも自転車通学をしている中学生もいる等の現状があるため、現実的にどうなるかを出してほしい。</li> <li>- 3ヘクタールもの敷地が必要な理由がわからないので説明してほしい。</li> <li>- 実際に敷地内に新しい学校の案を配置してみたら、必要な敷地がイメージしやすいのではないか。</li> <li>- 災害の観点からはシビアに見てほしい。</li> <li>- 保護者世代の考え方を集計してほしい。</li> <li>- まちづくりの視点も評価項目に加えてほしい。</li> <li>- 跡地活用の可能性も並行して考えたい。</li> </ul> </li> <li>■ 候補地への意見について、委員より下記の発言。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 自分の周りでも早くやってほしいという意見はよく聞く。評価には学校環境を重視してほしい。評価表を見ると、中学校以外で迷う必要はないと思う。</li> <li>- 能登半島地震の様子を見て、子どもたちのためにも早く作ってあげたいという気持ちが出てきた。原野谷中学校は古いので、より怖いと思う。また財政的にも今がチャンスなのではと思う。もともとは人口が減ることを懸念して南側に建ててほしかったが、教育の質を上げて人を呼べるようにすればいいと思う。</li> </ul> </li> </ul>
	(3) 「原野谷学園新たな学校づくり検討委員会だより」第3号について
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事務局から、第3号のおたより構成案を共有。</li> </ul>
4	今後の予定について
5	閉 会